

知ってそうで知らなかった!!

アキハダ

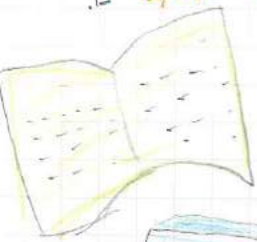


大塚小学校
6年 丹下瑚陽

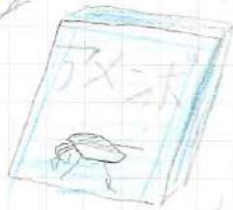
! き、かけ!

・私が住んでいる所には田んぼや畑がたくさんあり生き物を見つけることができる。その中で田んぼの横の用水路で泳いでいるアメンボを見つけました。よく見かける生き物だが、くわしくはしらないので、どんな生き物なのか調べてみることにした。

📖 調べ方 📖



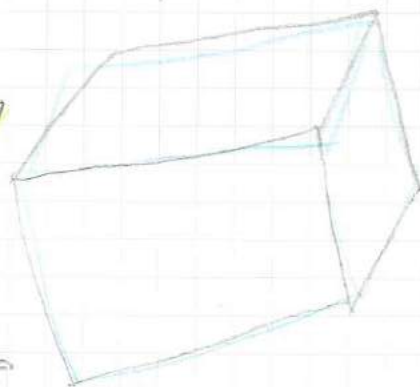
図書館にいて本で調べる



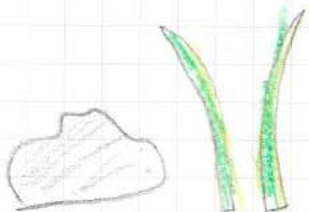
アメンボを飼って観察してみる。

🐛 飼育に必要なもの 🐛

水槽



石や葉っぱ



🏠 アメンボの住んでいる所 🏠



「田んぼ」の用水路で
カッパシになっている
アメンボのひき
をつかまえた。
サイズ 1.5cm ↓
水の流 上から下 ↓
流れにさからって泳いで
いた

よく見かける
↓ アメンボ



流れがおだやか
(アメンボ)

丸い形で背中にシマシマ
↓ の模様があり小さかった



↑
シマ
アメンボ

ゆるやかな流れ
(アメンボ
シマアメンボ)

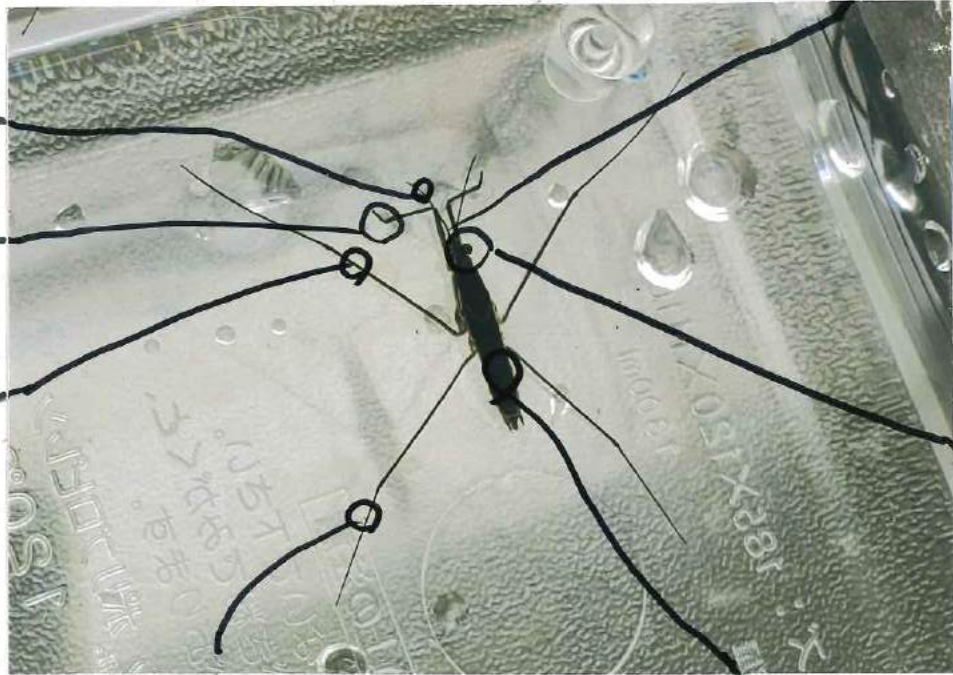
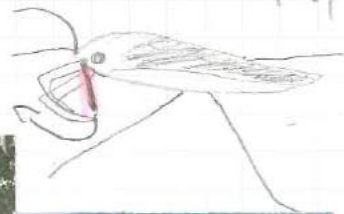


「田んぼ」
(ケシカタビロ
アメンボ)
← 小さすぎてつかま
れなかった

アメンボの体のつくり

アメンボは、口から虫の体の色々な所に消化液を入れ、虫の体の中をとかして液をすう。

アメンボは足の毛で液を感じエサの場所を知ることができる。



しよ角
前あし
中あし
一番長い

後あし

羽



ふだんは体に
まかしている

目

アメンボの足には細い毛があり
するどいつめがある



電子けんび鏡でみた

アメンボの足

エサ

- トンボ → 大人気
- バッタ → 食べる
- チョウ → 人気だがりんぷんで水がよご
- が → される
- カメムシ → 食べる。アメンボの新せきだが溶しゃなく食べていた
- か → 子供に大人気
- アリ → 大きいものはよく食べる
小さいと子供でも食べない
- ハチ → 大人は食べる
- ハエ → 大人・子供に大人気
- カマキリ → 食べる
- コオロギ → 食べる



◦セミ → 食べなかった

◦メダカ → うかんだけど食べなかった

◦死んだアメンボ → 初めは通りすぎた
赤ちゃんアメンボ
は少し食べていた。

◦くも → 食べた

◦カマキリの赤ちゃん → 食べた

赤ちゃんアメンボ
はカマキリの赤ちゃん
に食べられていた。

アメンボの成長

大人 →
カッパル



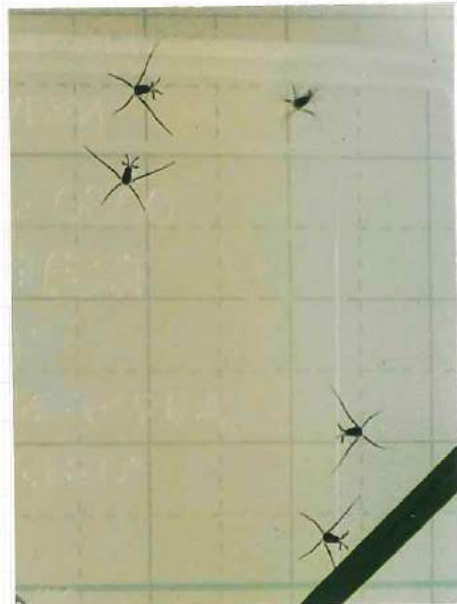
←産んでいる様子



↑
だっぴがら

(1cm方眼)

たまご →



←生まれた
たての
赤ちゃん

2mm < 11

5/22 結こん

月日	たまご	ふ化	月日	たまご	ふ化	月日	たまご	ふ化	月日	たまご	ふ化
5/23	33		6/8	46	37	7/14	0	24	8/9	0	0
5/24	0		6/9	19	0	7/15	0	14	8/10		20
5/25	0		6/10	18	21	7/16	0	12	8/11		14
5/26	40		6/11	20	8	7/17	14	0	8/12		4
5/27	1		6/12	0	2	7/18	24	3	8/13		5
5/28	9		6/13	0	33	7/19	27	3	8/14		1
5/29	0		6/14	0	2	7/20	0	4			
5/30	25		6/15	43	2	7/21	23	0	たまご		
5/31	17		6/16	19	26	7/22	0	0	1239		
6/1	0		6/17	0	12	7/23	0	16			
6/2	0		6/18	0	2	7/24	45	10	ふ化		
6/3	24	16	6/19	18	35	7/25	0	0	813	む	
6/4	0	8	6/20	30	16	7/26	27	19			
6/5	0	12	7/1	0	0	7/27	28	0			
6/6	3	15	7/2	18	23	7/28	0	4	X7		
6/7	18	16	7/3	46	26	7/29	0	13	8/9		
6/8	26	14	7/4	2	4	7/30	30	7	死亡		
6/9	32	24	7/5	24	12	7/31	28	13			
6/10	0	12	7/6	0	17	8/1	0	17	才下		
6/11	36	4	7/7	38	7	8/2	11	29	9/5		
6/12	30	11	7/8	40	8	8/3	20	6	死亡		
6/13	42	0	7/9	25	19	8/4	36	0			
6/14	22	0	7/10	0	23	8/5	0	10			
6/15	0	0	7/11	0	5	8/6	32	8			
6/16	23	2	7/12	69	12	8/7	0	1			
6/17	34	38	7/13	0	48	8/8	4	14			

観察して分かったこと

◦ アメンボは、ずっと水面にいるのではなく、葉っぱや石の上で休憩することがある。



◦ 生まれたばかりの赤ちゃんアメンボが共食いをした。

◦ 水そうの中でぴんぴんととんでいた。

◦ 足のそうじをよくしている

◦ 水の上でじっとしていることが多い

◦ アメンボの名前の由来はあめのような甘いにおいがするからアメンボと呼ばれているが、あめのおいしなかつた、くさかった

◦ えさが生きていると食べない

◦ アメンボが水そうにあたってカチカチと音がなっていた。

◦ 水の流れがない環境の水そうでも生きた

◦ ストローのような口でエサの体液をすっていた。

前あしでかき
ギュッとつかんで
いた。



← 他のアメンボに取りられないように、持って移動した

🔍 アメンボの本と家で観察したアメンボ
とちがいがあつた。

例えば...

本には、エサとなる虫が水面に落ちた時に出来る水面の波を感じ、つかまえにいくと書いてあつたが、家で飼っていたアメンボは生きている虫は食べないことが多かつた。近くに行き様子を見ていたが、虫が動くときとピョンとはねてさけていた。

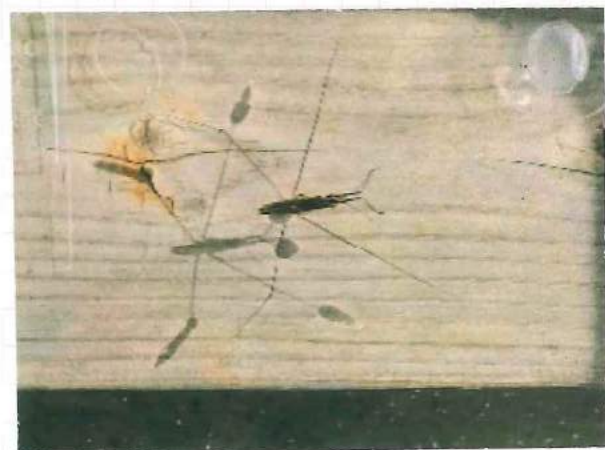
家では、死んでいる虫をあげていたので水面の波はたたないが、エサを見つけて食べていた。

ほかにも...

2週間ほどの間に交尾をしたまごを産んで死んでいくと書いてあつたが家で飼っているアメンボは交尾をした後も、80日間生き、1239個たまごを産んだ。

←かけ

アメンボのあし先が水面をおして、へこませいるから不思議なかけがができる。



まとめ

アメンボ"カップルはメス80日オス116日間生きていた(生後何日で"家"へきたかは不明なので、家に来てからの日数)

2匹の間に生まれたたまごは、1239。そのうちふ化したのは813匹だった。メスが死ぬまでの間で(89)大人になったアメンボは90匹、赤ちゃんは30匹いた。大人になるまでにたくさんの赤ちゃんアメンボが死んでしまった。

共食いをしたり、水そうのガベにのぼってそのまま動けなくなったりするのは、せいはいすいそうの途中でにげ場がなく食べてもらえず、たり、自然界にはない水そうのガベがあるのが原因だと思つたので、この死に方は、自然界では少ないと思つた。

自然界だと雨や風、気温の変化や外敵、食べ物の有無もえいきょうを受けるのでたまごの数や生存日数も変えてくると思った。

夏休みにサイエンスワールドに行きイベントであった電子けんび鏡でアメンボを見せてもらった。ふつうのけんび鏡よりもよく見え、見ているものか、ずれずカメラだけを使うし、パリコンで見ることができたので観察がやりやすかった。

📖 参考にしたもの 📖

アメリボ 監修 高家博成

発行所 ホップラ社